



理事長あいさつ

新庄土地改良区
理事長 佐藤喜代志

区報の発刊にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

組合員の皆様方には、日頃より当土地改良区の運営及び事業の推進に、ご理解とご協力を賜り、感謝の意を表したいと存じます。また、ご指導、ご支援をいただいております関係機関の皆様方に心より御礼申し上げます。

今冬は暖冬との予想に反し、幾たびもの寒気団の流入で、厳しい寒さと豪雪に見舞われました。住民の皆様が、除排雪に苦慮している状況を見るに接し、一日も早い新庄用水を利用した消流雪用水事業の本格通水を実現しなければならないと、あらためて痛感しているところでございます。本改良区としましても、国、県、新庄市と連携を強化し、問題点の解決と、早期通水に努めておりますので、皆様のご理解とご協力よろしくお願い申し上げます。

さて、地域農業を取り巻く状況は、年々厳しさを増し、大きな転換期を迎えております。

この度、国は新たに「経営所得安定対策等大綱」を決定しました。皆様既にご承知のことと思いますが、これは一定の経営規模以上、認定農業者を対象とした集落営農を軸に指定された作物への支援策と地域用水や農地等の環境資源を非農家も加えた地域住民の共同活動で管理する取り組みの資源保全向上対策の二本柱となっております。

特に後者においては、改良区が中心的な役割を求められるものでありますので、関係機関や地域と連携しながら、最上地域の将来を見据えた確かな取り組みを推進してまいりたいと考えているところでございます。

昨年9月開催の平成17年度臨時総代会において、役員・総代の大幅な定数削減を決議し、この度新総代73名と新役員23名が決定いたしました。事務局職員も少ない人数でございますが、役員一丸となって、組合員サービスの向上と歳出削減を図り健全な運営に努めてまいりますので、皆様より絶大なご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

最後になりますが、本年も稔り多き年となりますことと、皆様のご健勝をご祈念申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。



第1回臨時総代会（佐藤理事長あいさつ）



第2回臨時総代会審議状況

第28回 全国土地改良山形大会の報告

大会式典

平成17年10月26日（水）、山形市の山形国際交流プラザにおいて、全国より3000名を越える土地改良関係者が参加し、第28回全国土地改良大会が開催されました。各種表彰式、農業農村の振興に向けた優良活動事例の紹介、基調報告等につき、大会宣言が決議され、次期開催県の京都府に大会旗が引き継がれました。



大会宣言の決議



アトラクション（花笠踊り）

現地視察

翌日10月27日（木）～28日（金）の2日間に渡り、各管内の現地研修が実施され、当最上管内には、全国より約300名の関係者が訪れました。

当改良区施設では、清水揚水機場を視察していただき、毎秒5.9m³で106mの揚程の大規模施設の維持管理、消流雪用水事業等の多目的活用計画、母なる川最上川の恵みに感謝し施設の安全を祈願し建立された「水源の碑」等の説明に、参加者は大きな関心を寄せておりました。

またJ A新庄市ゆきむろ倉庫において、土地連最上支部主催の歓迎イベントを開催し、飛田囃子若連による新庄囃子の演奏とともに、新庄・最上の農林業、特産品、観光等のPRを全国に向けて発信いたしました。



清水揚水機場
現地視察



土地連最上支部
歓迎イベント

